

学研が NTT 東日本の学習プラットフォームを活用して

「新学習クラウドサービス:学研ゼミ」を提供開始

～「家庭」「塾」「学校」の ICT 活用で協業～

- 学研は、「“熱中できるマナビ”をすべてのご家庭に！」というコンセプトで、2016年7月に、新学習クラウドサービス「学研ゼミ」を提供開始します。「学研ゼミ」で提供される無学年式教科学習教材「ワンダードリル」では、NTT 東日本の学習プラットフォーム「ひかりクラウド スマートスタディ」を活用しています。
- 学研は、「学研ゼミ」内のコンテンツ群を増強し、2016年中に、「塾」「学校」等向けにもサービスの提供を予定しています。これにより、「塾」「学校」等は学研の豊富なコンテンツをタブレットや PC などマルチデバイスでご利用可能となります。
- 学研とNTT 東日本は、学校等の教育機関における光回線およびWi-Fiサービスの普及に向けて協業し、また、学研はNTT 東日本が開発中の「アダプティブラーニング機能^{※1}」でも研究・開発に協力していきます。

※1 「アダプティブラーニング(適応学習)機能」とは、生徒個々の学習進度、理解度、学習特性などに応じて、教材をカスタマイズして提示していく機能です。

1. 背景

政府が「2020年度一人1台タブレット導入」や、「大学入学希望者テスト」でのCBT^{※2}導入を掲げる中、「塾」や「学校」で、タブレット端末にて映像授業やテスト・演習問題を活用する事例が増えており、今後その動きはさらに加速していくことが予想されます。

今回、学研は、自社の強みである豊富な教材コンテンツを新学習クラウドサービス「学研ゼミ」として提供することで、教育のICT化を推進します。その際、NTT 東日本の「ひかりクラウド スマートスタディ」を活用することで、コンテンツ制作に専念し、学研グループに加え、グループ以外の「塾」「学校」等に対しても、広くコンテンツの提供を通じてICT化の推進を行ってまいります。

また、学校等の教育機関のICTによる学習環境の整備の際、NTT 東日本と学研が協業して、普及を推進します。

※2 CBTとは、コンピュータを利用したテストや試験を言います。

2. 「学研ゼミ」について

(1)「学研ゼミ」のサービス概要

子どもが熱中できるマナビのためのポータルサイトとして、「学研ゼミ」を2016年7月1日に提供開始いたします。

7月開設時は、教科学習「ワンダードリル」を中心に、子ども向け新聞、百科事典、アニメ動画、保護者向け読み物を、各サービス540円(税込)/月の安心の価格で提供します。また、2016年10月以降もコンテンツ群の増強など、サービスを順次拡充予定です。

(2)教科学習「ワンダードリル」の概要

「学研ゼミ」の中核的な教科学習のコンテンツとなります。子どもに学習習慣をつけるために、ゲーミフィケーション^{※3}の要素を活用し、楽しみながら毎日挑戦したくなるドリルを提供します^{※4}。また、実際の学年に縛られない無学年形式^{※5}で提供し、苦手項目の学び直しや、先取り学習に取り組むことができます。

※3 ゲーミフィケーションとは、ゴール設定や競争といったゲームのメカニズムや要素を応用し、課題の解決やユーザのモチベーション喚起を図る手法のことを言います。

※4 NTT東日本の「ひかりクラウド スマートスタディ」を活用して提供します。

※5 小1～中3までを初級・中級・上級・最上級に区分し、どの級にもチャレンジでき、反復練習することで学習を定着させます。

(3)「塾」「学校」へのサービス展開

学研は、「学研ゼミ」内のコンテンツ群を増強し、2016年中に「塾」「学校」等にもサービスの提供を予定しています。

3. NTT 東日本の「ひかりクラウド スマートスタディ」の概要

「ひかりクラウド スマートスタディ」は、NTT 東日本が塾・学校等向けに、さまざまな学習コンテンツの配信機能をクラウド型で提供し、一元的な学習管理を可能とする学習プラットフォームです。本サービスにより、教育機関は学習コンテンツをPCやタブレット端末、スマートフォンに対し、簡単に配信でき、効率的で効果的な学習環境を手軽かつ安価に実現できます。

また、「ひかりクラウド スマートスタディ」では、2016年7月より、さまざまな解答方式の問題・テストの自動採点が可能で、塾・学校が独自に作成した簡易～リッチな問題・テストコンテンツを入稿可能な、マルチデバイス対応の高機能「ドリルエンジン」の提供を開始します。

4. 今後の予定

学研とNTT 東日本は、「学研ゼミ ワンダードリル」等の内容を第7回教育ITソリューションEXPO(開催期間:2016年5月18日(水)～20日(金)、会場:東京ビッグサイト、主催:リードエグジビション ジャパン(株))にて展示・紹介します。

また、学研とNTT 東日本は、学校等の教育機関における光回線および Wi-Fi サービスの普及に向けて協業し、学研は NTT 東日本が開発を行っている「アダプティブラーニング機能」の研究・開発に協力していきます。

5. 本件に関するお問い合わせ先

(1)学研教育アイ・シー・ティーのお問い合わせ先

株式会社学研教育アイ・シー・ティー 経営企画室 松井

TEL:03-6431-1293

(2)NTT 東日本のお問い合わせ先

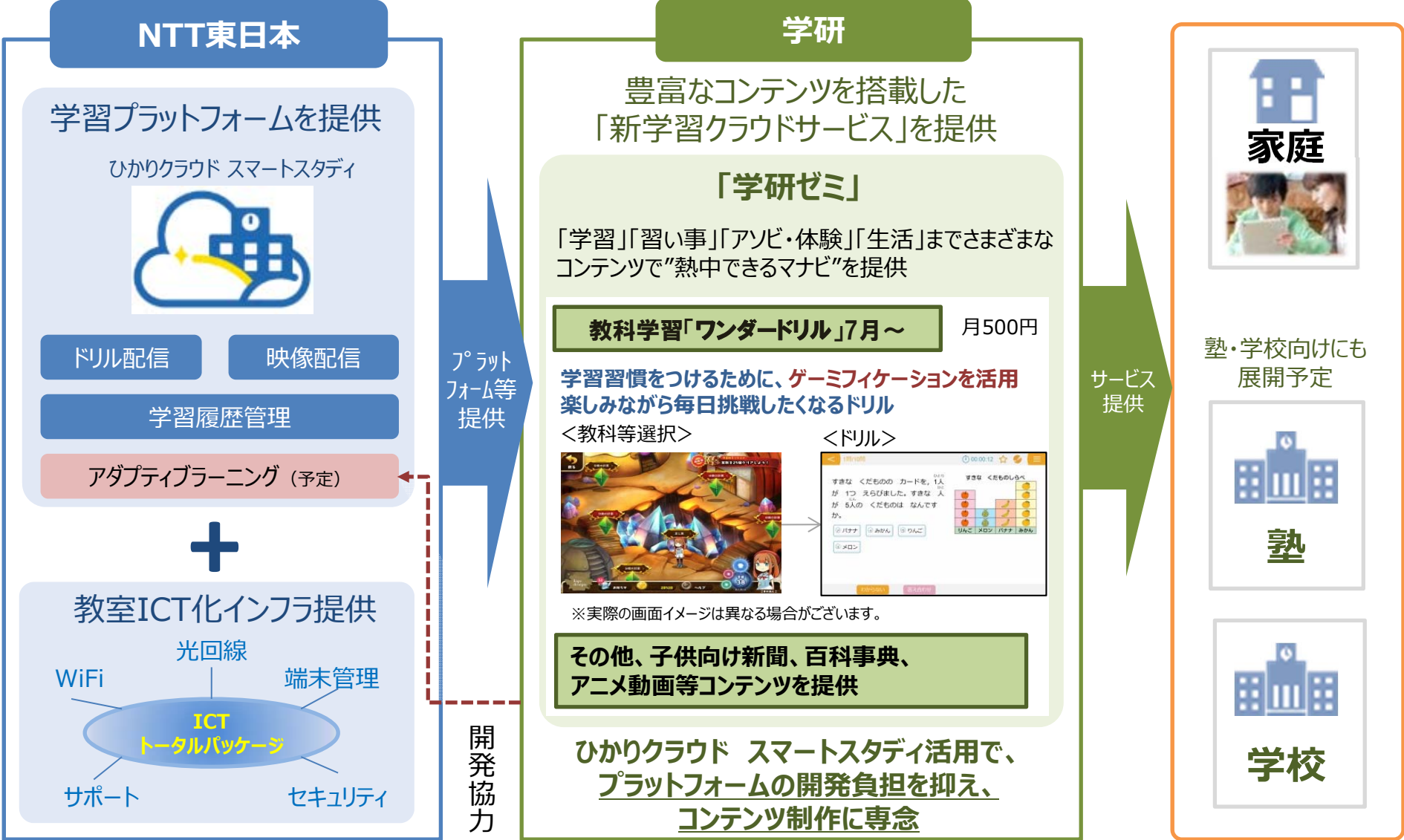
NTT 東日本 ビジネス開発本部 第二部門 SMB クラウド担当

TEL:03-5359-7975

【別紙 1】サービスイメージ

【別紙】サービスイメージ

学研、NTT東日本の相互の強みを活かして、学習環境のICT活用を推進



※学校等の教育機関における光回線、Wi-Fi普及に向けて協業